

② 売上げ

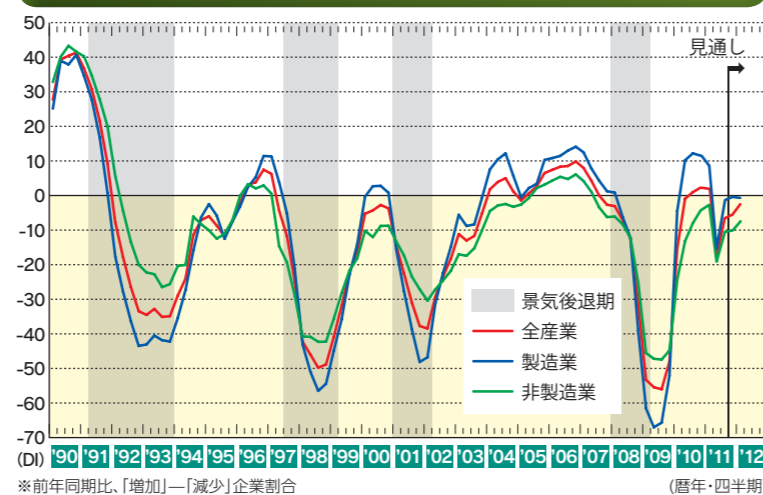
マイナス幅が縮小



▲17.7 ▷ ▲7.1

売上げ DI (前年同期比、「増加」―「減少」企業割合) は、マイナス幅が縮小した。先行きについても、マイナス幅がやや縮小する見通しとなっている。

売上げ DI の推移<季節調整値>



※前年同期比、「増加」―「減少」企業割合 (暦年・四半期)

③-1 販売価格

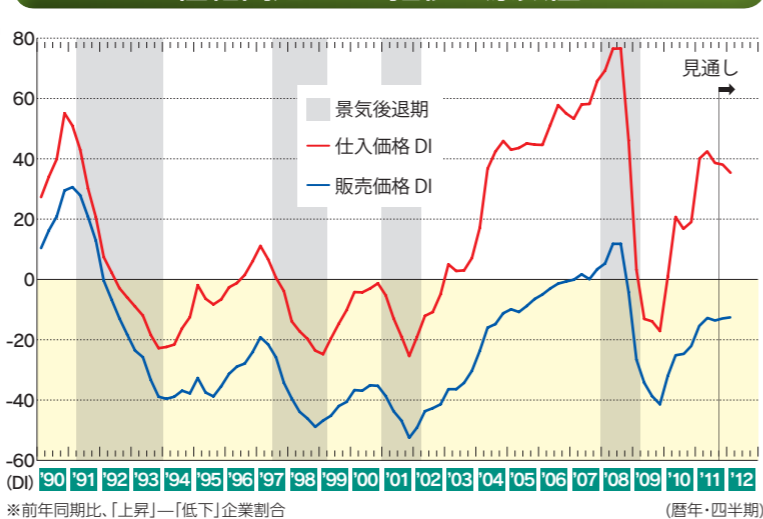
マイナス幅が拡大



▲13.9 ▷ ▲15.3

販売価格 DI (前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合) は、7 期ぶりにマイナス幅が拡大した。

価格関連 DI の推移<原数値>



※前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合 (暦年・四半期)

③-2 仕入価格

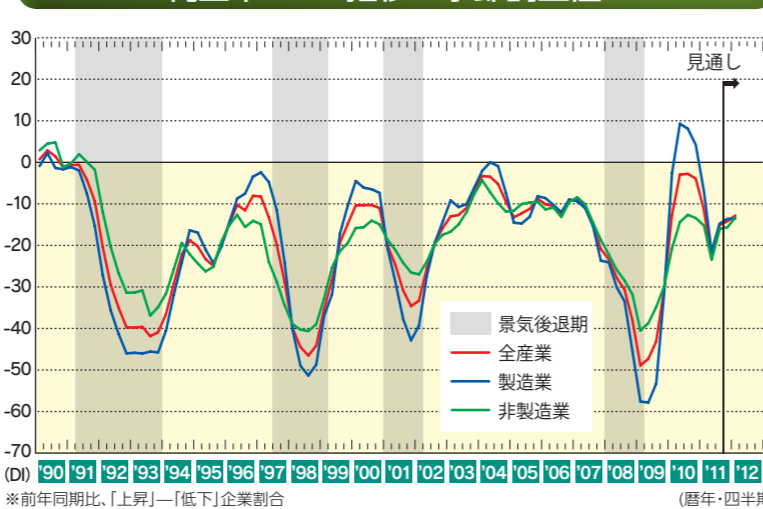
大幅なプラスが続く



43.5 ▷ 38.5

仕入価格 DI (前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合) は、38.5 と低下したが、依然としてプラスが続く見通しとなっている。

純益率 DI の推移<季節調整値>



※前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合 (暦年・四半期)

④ 利益

マイナス幅が縮小



▲23.1 ▷ ▲15.6

純益率 DI (前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合) は、マイナス幅が縮小した。先行きについても、マイナス幅がやや縮小する見通しとなっている。

全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2011年7-9月期実績、10-12月期および2012年1-3月期見通し

『中小企業の景況は、持ち直してきているが、先行きについてはやや慎重な見方もある』

日本政策金融公庫総合研究所は10月21日、「全国中小企業動向調査結果(2011年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① 業況判断 DI      マイナス幅が縮小した。来期以降もわずかながら縮小する見通しである。
- ② 売 上 げ DI      マイナス幅が縮小した。
- ③ 価格関連 DI      販売価格 DI はマイナス幅が拡大する一方で、仕入価格 DI は低下した。
- ④ 純 益 率 DI      4 期ぶりにマイナス幅が縮小した。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査の DI は、回答結果の分散度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2011年9月中・下旬
- 調査対象：当公庫中小企業事業取引先 12,990社
- 有効回答企業数：6,066社 (回答率 46.7%)

全国中小企業動向調査(中小企業編)について

当調査は、中小企業の景況動向等を把握するために、当公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野において我が国を代表するビジネスサーベイのひとつとして、関係各位から高い評価を得ています。

① 業況判断

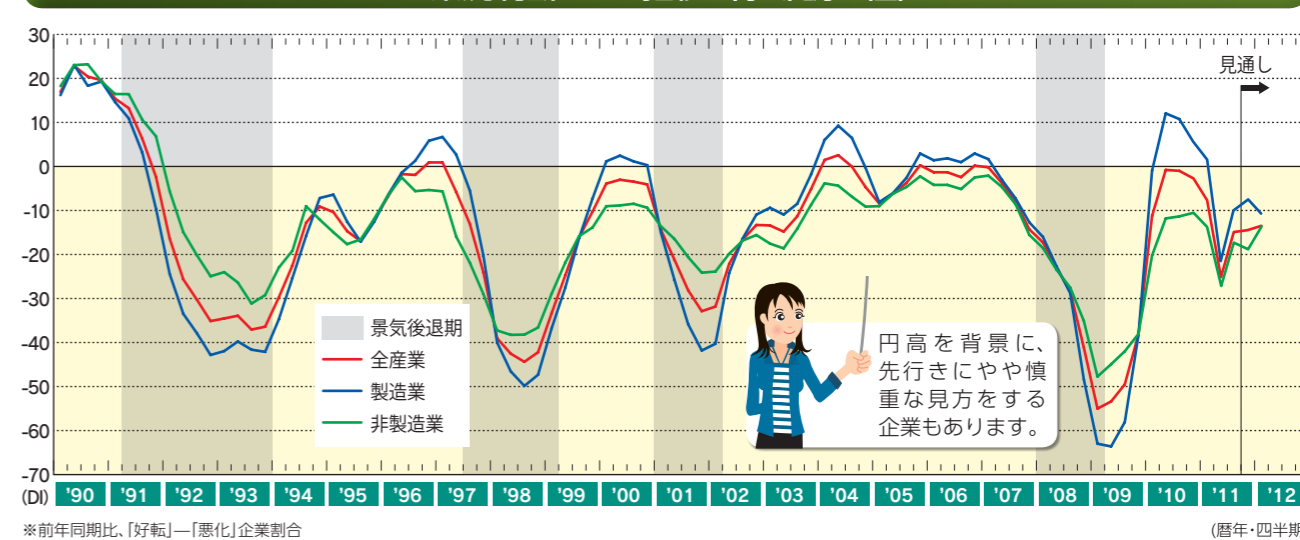
マイナス幅が縮小



▲24.8 ▷ ▲14.7

- 現状 業況判断 DI (前年同期比、「好転」―「悪化」企業割合) は、▲14.7とマイナス幅が縮小した。
- 見通し 先行きについては、マイナス幅がわずかながら縮小する見通しとなっている。

業況判断 DI の推移<季節調整値>



※前年同期比、「好転」―「悪化」企業割合 (暦年・四半期)



円高を背景に、先行きにやや慎重な見方をする企業もあります。